

# 「環境未来都市」構想推進フォーラムin中部

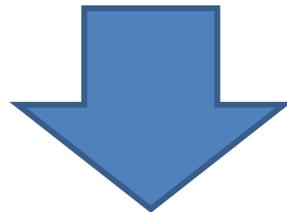
平成23年5月20日



# お話したいこと

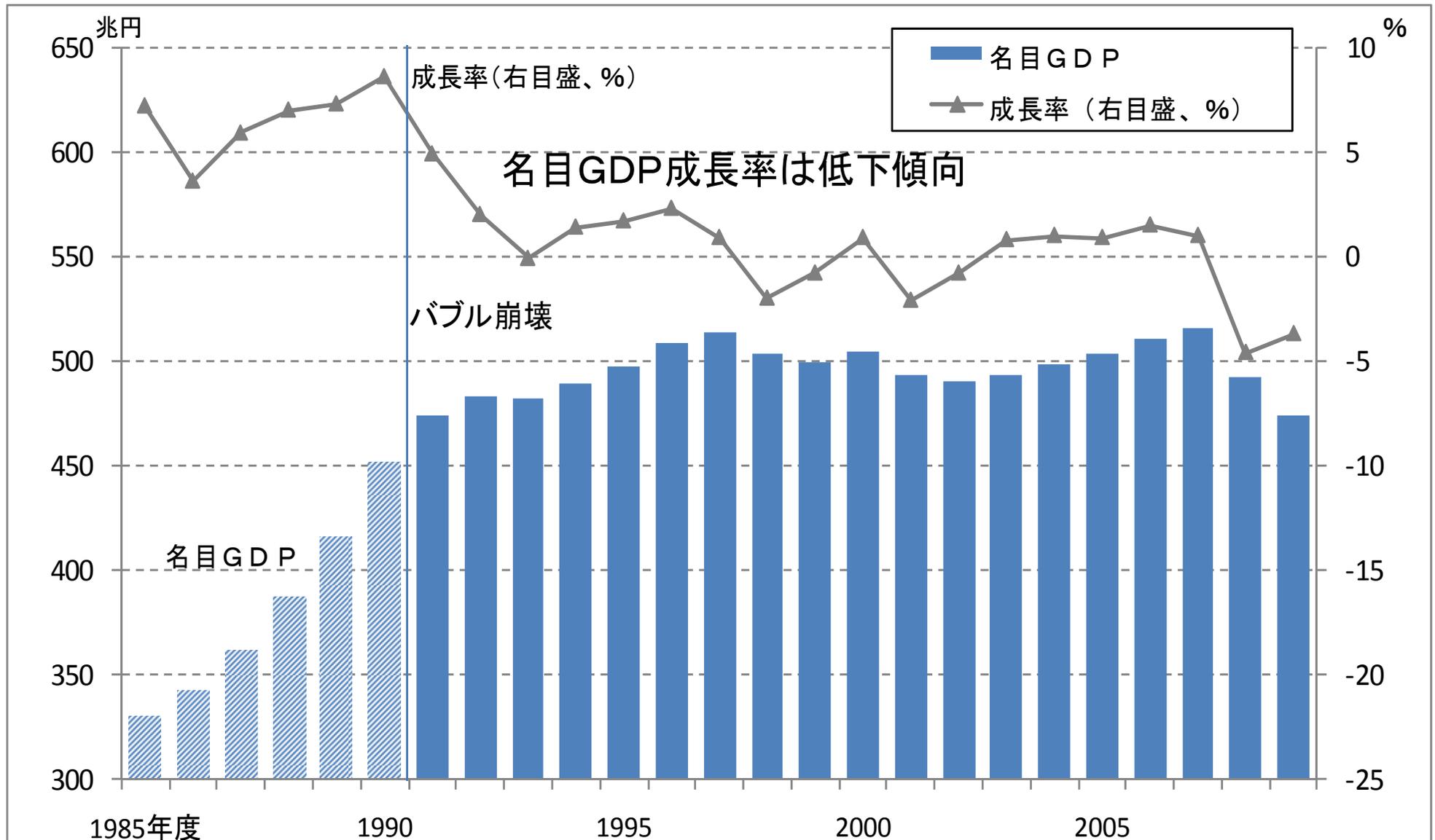
都市の衰退は・・・

経済の低迷 × 人口減少・高齢化



**『都市再生は発想を変えて！』**

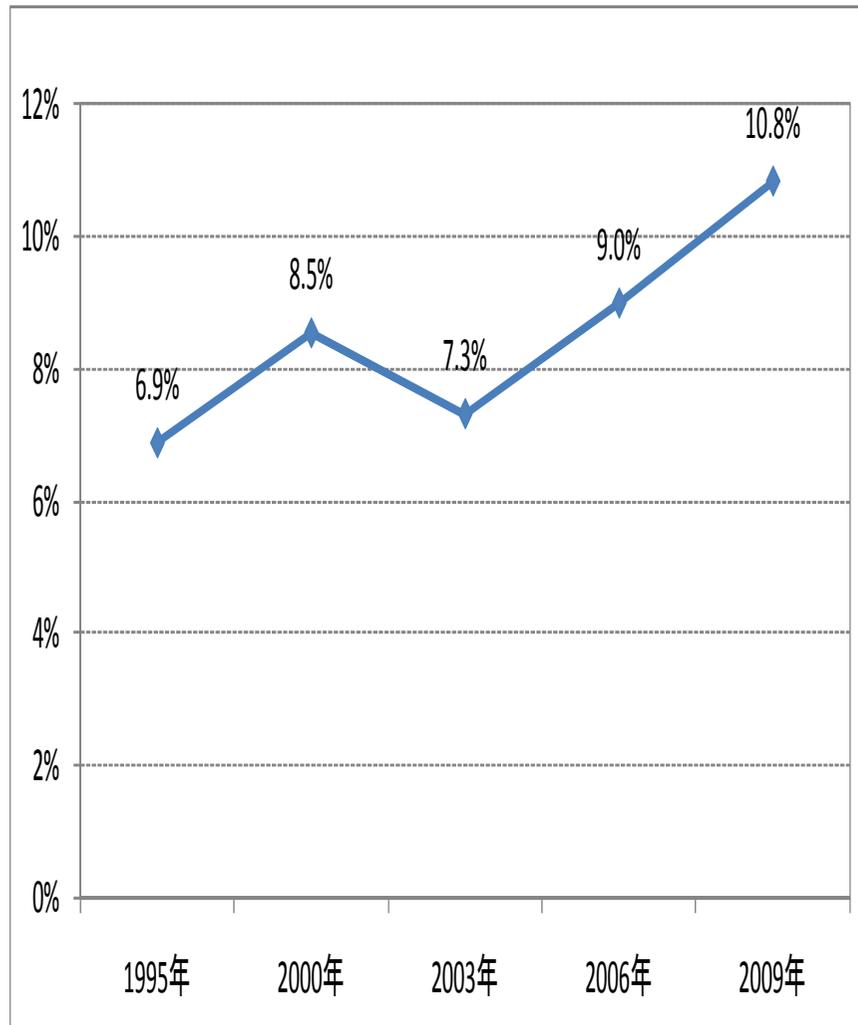
# 経済の低迷と都市の衰退



(出所)内閣府「国民経済計算年報」

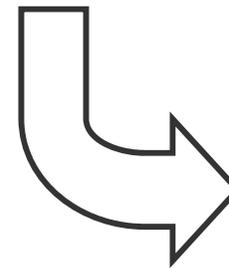
# 経済の低迷と都市の衰退

## 1商店街あたりの 空き店舗率の推移



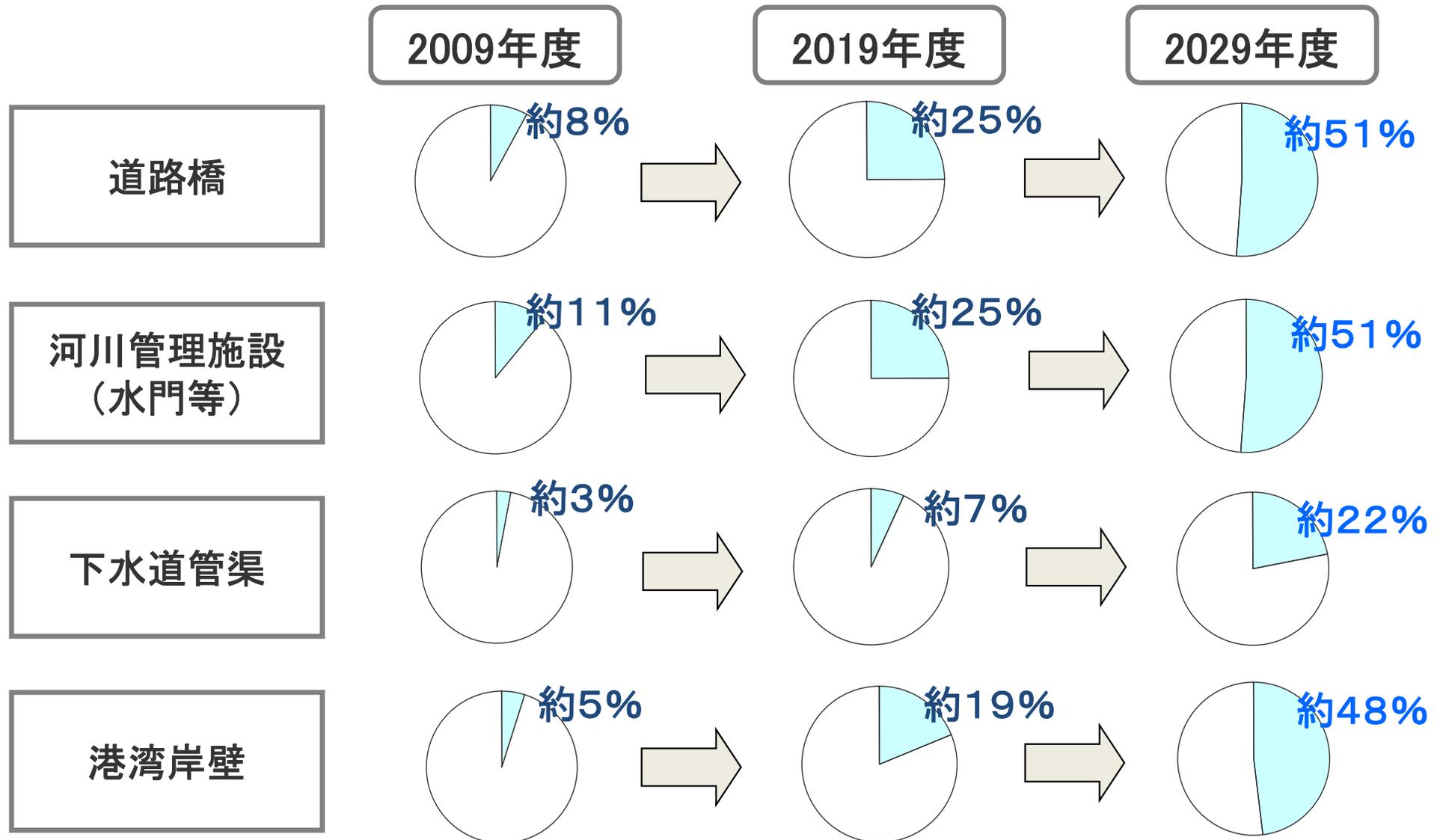
(出所) 中小企業庁「商店街実態調査報告書」

## 賑わいのあった都市中心部 がシャッター街へ



# 経済の低迷と都市の衰退

## 建設後50年以上経過する社会資本の割合



# 経済の低迷と都市の衰退

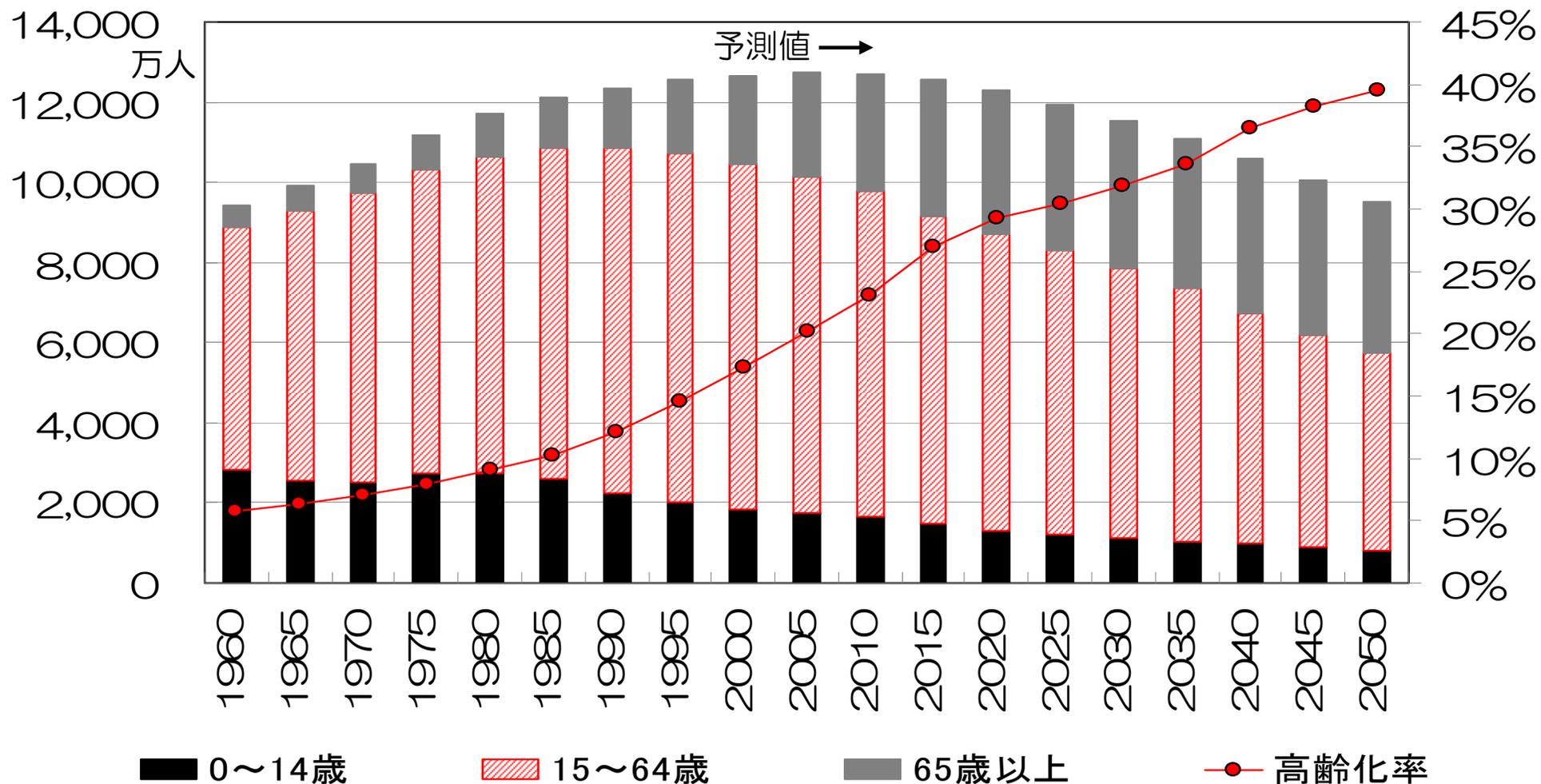
## 名古屋ビジネス地区の空室率とGDPの推移



(出所)三鬼商事「オフィスビルの空室率および平均賃料の推移」より加工

# 人口減少・高齢化と都市の衰退

我が国の人口は、2005年をピークに減少  
高齢化率は2050年に40%超へ



(出所)総務省「人口の推移と将来人口」より加工

# 人口減少・高齢化と都市の衰退

郊外には大型商業施設が立地

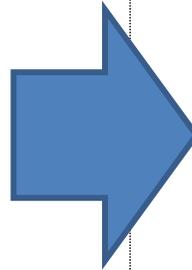
郊外のロードサイドには商業施設が立地



# 都市再生は発想を変えて！

## これまで

- GDPの成長
- 人口増加
- 都市の拡大指向
- インフラの量的充足
- モノの豊かな生活
- 高齢者に配慮した都市
- CO<sub>2</sub>の増加抑制

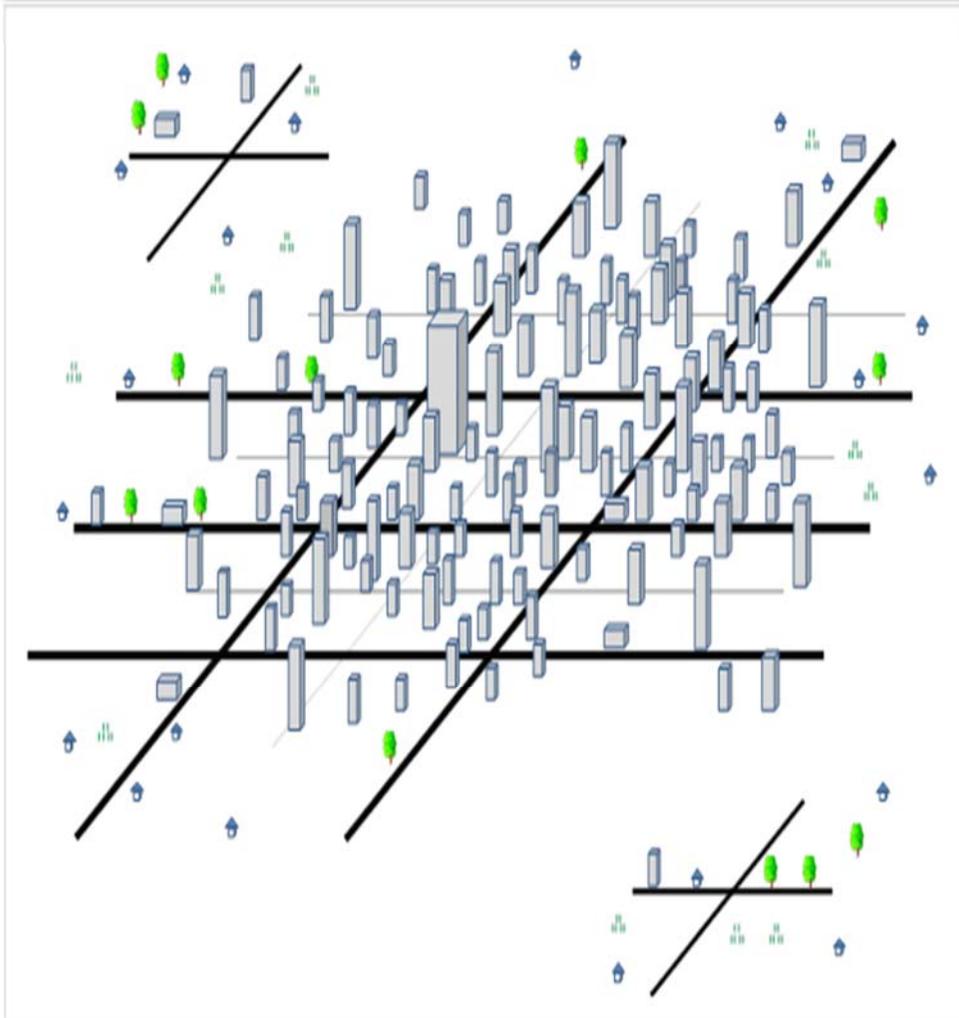


## これから(試案)

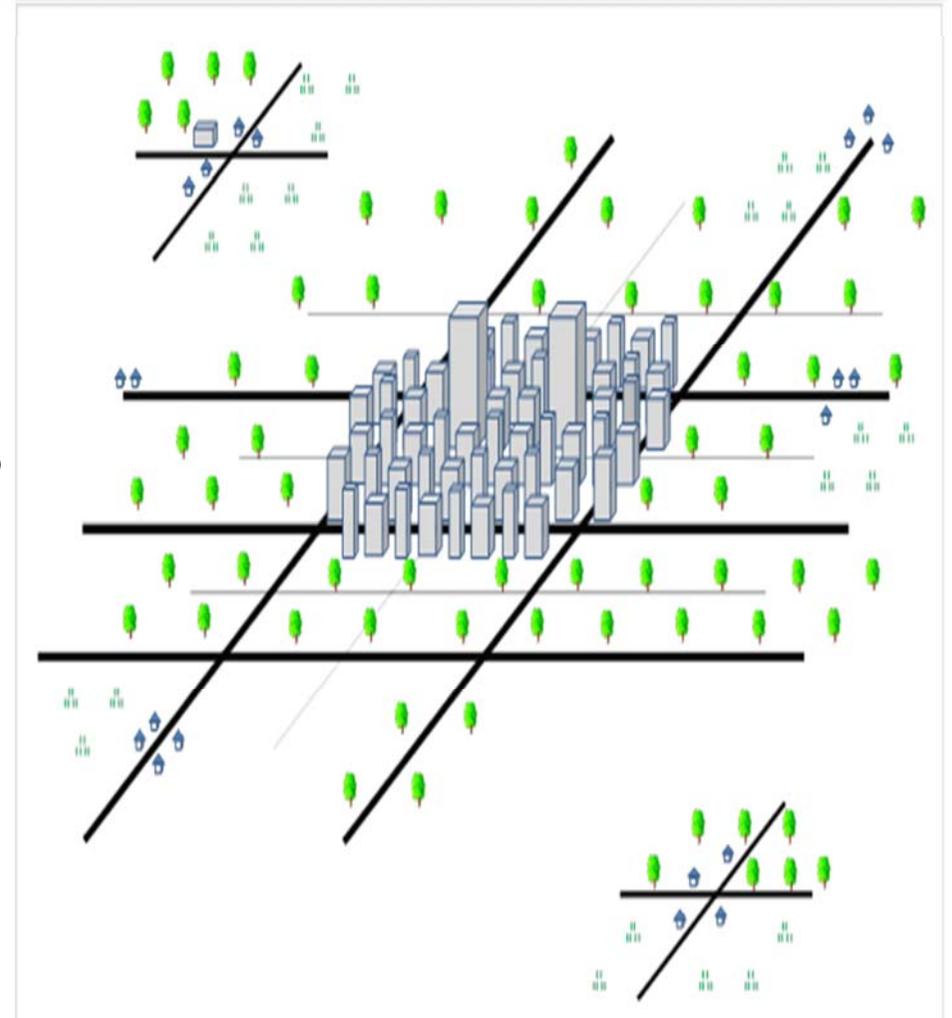
- 一人当たりGDP
- 人口減少
- コンパクトな都市
- インフラの質的充実
- 生活の質の向上
- 高齢者が前提の都市
- CO<sub>2</sub>の減少

# 目指すべき都市の在り方

(現在)  
都市の規模的拡大



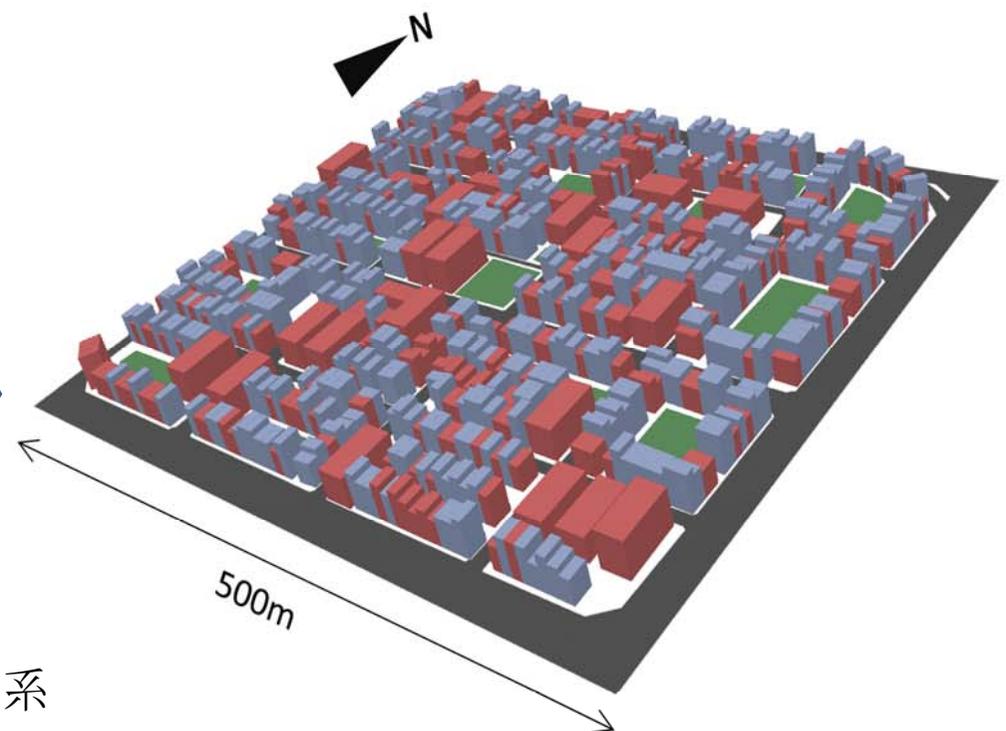
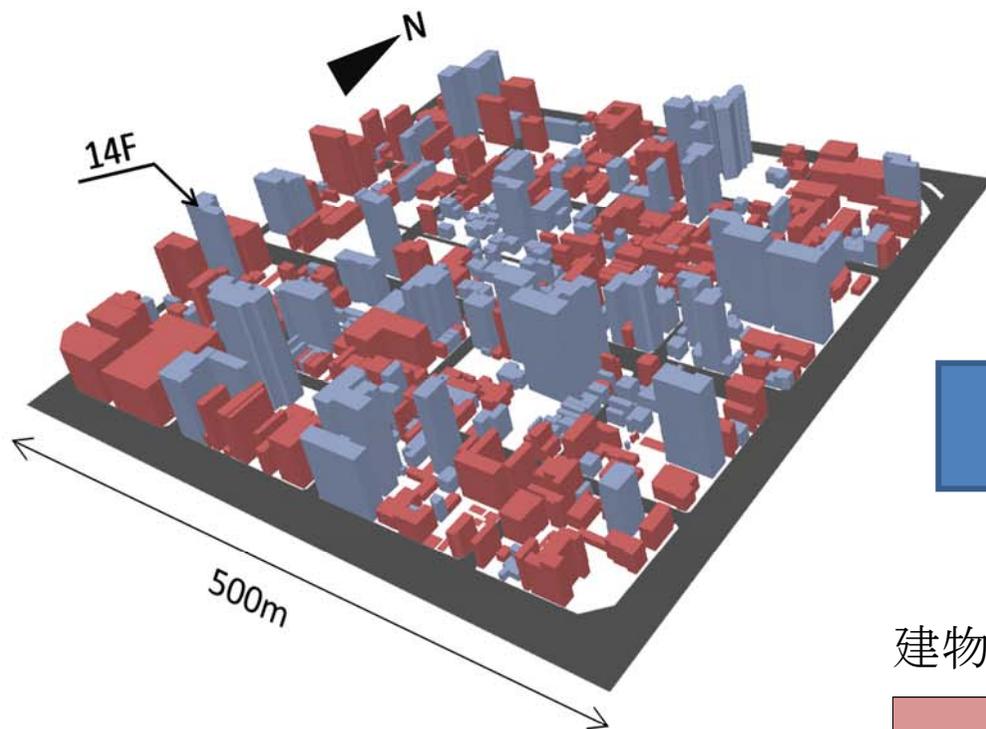
(目標像)  
コンパクトな都市へ



# 目指すべき都市の在り方

現在の街区の状況

改善された街区の状況



建物区分

商業系

住宅系

緑地

# ものづくりを活かした都市づくり

## ＜豊田市のスマートシティのイメージ＞

生活者行動に着目し、市民満足度の高い低炭素社会システムを構築

- ・エネルギー利用最適化(家庭内～移動先、商業／公共施設)、
- ・低炭素交通システム構築、
- ・生活圏全体での行動最適化 等

生活動線

生活圏全体

家庭内

移動(通勤・通学・外出等)

移動先

実証  
モジュール

①家庭内エネルギー利用最適化

②低炭素交通システム構築

③商業・公共施設等  
エネルギー利用最適化

④生活圏全体での  
行動最適化

実証事項  
(現時点)



# タウンエコエネルギーを活かした都市づくり

## 太陽光市民共同発電の展開

～ おひさまパワーを生かして～

市民ファンドを活用し、市内や周辺地域で160箇所を超える公共施設や事業所の屋根を活用して、地域のエネルギー会社が太陽光発電による電気を供給する「太陽光市民共同発電事業」を展開しています。将来的には市内のあらゆる屋根で太陽光発電を普及させ、地域全体が「おひさま発電所」になることを目指します。



## 木質ペレットの利用拡大

～ 豊かなもりの資源を生かして～

豊富な森林資源を生かし、小中学校のペレットストーブや公共施設のペレットボイラーを中心に、南信バイオマス協同組合が製造する木質ペレットを利用し、森のエネルギーの普及を推進しています。



●飯田市南信濃「かぐらの湯」ペレットボイラー



## 産業界との連携

～ 環境と経済の好循環を目指して～

環境ISOをキーワードに活動する「地域ぐるみ環境ISO研究会」を中心に、産業界でも積極的に環境改善活動に取り組んでいます。また三菱電機株式会社中津川製作所飯田工場には、2009年12月に太陽電池セル工場が増設され、地域の産業界とも連携しながら環境と経済が好循環するまちづくりを進めています。



飯田市の先進的な取り組み